

教育目標： ○ 自ら学び、よく考える ○ 進んで協力し、他人を思いやる ○ 心身ともにたくましく、最後までやりぬく めざす学校像： ○ 生徒が主体的に学び活動する学校 ○ 教職員が協働して教育活動を創造していく学校 ○ 保護者や地域社会から信頼される学校 めざす児童・生徒像： ○ 自分の夢に向かって意欲的に学ぶ生徒 ○ 他人のために労を惜しまない心豊かな生徒 ○ 強い意志と自信をもち、たくましく生きる生徒 めざす教師像： ○ 教育に対する熱意と使命感に富む教師 ○ 一人一人の良さや可能性を引き出せる教師 ○ 研修意欲に富み互いを高め合う教師
--

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標評価				成果指標評価															
				中間	最終	基準		中間	最終	基準													
						4	3			4	3												
笑顔と誇り	互いに認め合い、高め合い、学びあうことで、思いやりと豊かな心を育み、ひとり一人が居場所と感じ、安心して成長できる集団を育成する。	自己肯定感を育て、居心地感を高めることで以下の改善を図る。 ①いじめ、不登校 ②多様性を認め合える集団作り ③「分三魂（誇り・団結・克服）」 ④心身の健康	教育相談機能の強化と、一人一人の自尊感情を高めるコンプリメントを推進する。 面談や毎学期のアセスメントを通して困り感に寄り添い、丁寧に対応する。 学校行事や生徒会活動、部活動を充実させ、異年齢交流や多様性を認める活動を推進する。	○	○	4 ほぼ取り組めたとする教員90%以上。	3 ほぼ取り組めたとする教員80%以上。	2 ほぼ取り組めたとする教員70%以上。	1 ほぼ取り組めたとする教員70%未満。	○	○	4 自己肯定感に係る高評価80%以上。	3 自己肯定感に係る高評価75%以上。	2 自己肯定感に係る高評価70%以上。	1 自己肯定感に係る高評価70%未満。								
				—	○	4 アセスメントの結果を指導に生かしている教員が80%以上。	3 アセスメントの結果を指導に生かしている教員が60%以上。	2 アセスメントの結果を指導に生かしている教員が40%以上。	1 アセスメントの結果を指導に生かしている教員が40%未満。	○	○	4 丁寧な対応と感じた生徒が80%以上。	3 丁寧な対応と感じた生徒が70%以上。	2 丁寧な対応と感じた生徒が60%以上。	1 丁寧な対応と感じた生徒が60%未満。								
				—	○	4 異年齢や多様性を認める活動を4回以上実施。	3 異年齢や多様性を認める活動を3回実施。	2 異年齢や多様性を認める活動を2回実施。	1 異年齢や多様性を認める活動を1回実施。	○	○	4 学校へ行くのが楽しいと感じる生徒が80%以上。	3 学校へ行くのが楽しいと感じる生徒が70%以上。	2 学校へ行くのが楽しいと感じる生徒が60%以上。	1 学校へ行くのが楽しいと感じる生徒が60%未満。								
				確かで豊かな学力	分かる授業、興味・関心のわく授業の実現に努め、確かで豊かな学力の定着を図る。	基礎学力の充実に加え、協働的な学びやICTを活用した学びにより、主体的な学習者を育成する。	ユニバーサルデザインに基づいた授業づくりと補習教室等での個に応じた指導を行う。 ICTや言語活動を活用し、思考力・判断力・表現力の伸長と知識だけでない学力を育成する。	○	○	4 補習教室等を延べ40回以上実施。	3 補習教室等を延べ30回以上実施。	2 補習教室等を延べ20回以上実施。	1 補習教室等実施が延べ20回未満。	○	○	4 学習指導が丁寧であると回答した生徒が80%以上。	3 学習指導が丁寧であると回答した生徒が70%以上。	2 学習指導が丁寧であると回答した生徒が60%以上。	1 学習指導が丁寧であると回答した生徒が60%未満。				
								○	○	4 ICTを活用した授業が80%以上。	3 ICTを活用した授業が70%以上。	2 ICTを活用した授業が60%以上。	1 ICTを活用した授業が60%未満。	○	○	4 ICTや言語活動で理解を深めた生徒が80%以上。	3 ICTや言語活動で理解を深めた生徒が70%以上。	2 ICTや言語活動で理解を深めた生徒が60%以上。	1 ICTや言語活動で理解を深めた生徒が60%未満。				
								未来へ開かれた教育活動	地域や多様な教育資源を活用し、生徒の社会貢献や奉仕への意識を高める。	自校でのESD(SDGs)推進を行い、校区へも広げる。保護者や外部人材を活用した多様な教育活動を工夫し、主体的に他者や地域・社会へ貢献する態度を育成する。 学校だより等やブログでの積極的な情報発信を行う。	防災を中心とした地域連携を推進し、生徒の社会貢献への意識を高める。 外部人材との協働や、異文化理解を深める取り組みを実施する。	—	○	4 地域連携を意識した教員が80%以上。	3 地域連携を意識した教員が70%以上。	2 地域連携を意識した教員が60%以上。	1 地域連携を意識した教員が60%未満。	—	○	4 貢献や奉仕の意識がある生徒が80%以上。	3 貢献や奉仕の意識がある生徒が70%以上。	2 貢献や奉仕の意識がある生徒が60%以上。	1 貢献や奉仕の意識がある生徒が60%未満。
												—	○	4 外部人材を活用した取り組みが3回以上。	3 外部人材を活用した取り組みが2回。	2 外部人材を活用した取り組みが1回。	1 外部人材を活用した取り組みが未実施。	—	○	4 防災や異文化理解への高評価生徒が80%以上。	3 防災や異文化理解への高評価生徒が70%以上。	2 防災や異文化理解への高評価生徒が60%以上。	1 防災や異文化理解への高評価生徒が60%未満。
												—	○	4 ブログの更新が年間120回以上。	3 ブログの更新が年間100回以上。	2 ブログの更新が年間80回以上。	1 ブログの更新が年間80回未満。	—	○	4 学校の様子を理解している保護者が80%以上。	3 学校の様子を理解している保護者が70%以上。	2 学校の様子を理解している保護者が60%以上。	1 学校の様子を理解している保護者が60%未満。